



MINISTÈRE  
DE L'EUROPE  
ET DES AFFAIRES  
ÉTRANGÈRES

*Liberté  
Égalité  
Fraternité*

# NUTRITION FOR GROWTH PARIS 2025



# イントロダクション

## 世界的な状況

我々の国々では、栄養は人的・社会的な開発問題の中核をなしています。これは、世界が現在直面している多発性かつ反復性のショックの影響を予防し、緩和し、戦うための最も強力な基盤です。栄養は、適切な食品や健康でまともな生活を送る権利を含む基本的な権利に守られているのです。

栄養は、経済成長、貧困削減、気候変動やその他のショックへの回復力、その他の開発目標における重要な要因です。それは、人生を通じたより良い健康と幸福のための重要な構成要素であり、教育とより良い開発の見通しのために不可欠です。それらは、持続可能な開発目標2および3の達成に直結し、他の15のSDGのうち11の達成に影響を及ぼします。

**栄養不良は、すべての国が直面する世界的な課題である。**その多くは栄養不良の二重負荷に対処しており、国レベルではさまざまな形態の低栄養(発育不全、消耗症、やせ、微量栄養素欠乏症)、過体重および肥満が共存していますが、同じ家庭や個人レベルでも対応している<sup>1</sup>脆弱な状況にある人々(脆弱な地域や紛争の影響を受けている地域など)は、特に危険にさらされています。2022年には、5歳未満の子ども1億4800万人以上が発育障害、4500万人が消耗症、3700万人が過体重でしたが、18歳以上では8億8100万人が肥満でした<sup>2</sup>。必須ビタミンおよびミネラルの欠乏も、少なくとも16億人の女性および幼児に影響を及ぼし、短期的および長期的に健康および成長に影響を及ぼしています<sup>3</sup>。世界的にみて、栄養不良の真の負担は、例えば学齢期の小児、青年、成人男性、高齢者のビタミン・ミネラル欠乏に関するデータが少ないか不足しているため、過小評価されている可能性が高いのです<sup>5</sup>。

**栄養不良は依然として乳幼児の主要な死因であり、子どもの死亡全体のほぼ半数を占めており、その大半は低・中所得国で起きています<sup>4</sup>。**過体重と肥満に関連する非感染性疾患はあらゆる場所で増加しており、2019年には推定500万人の成人が死亡しました<sup>5</sup>。青少年と高齢者は、ビタミンやミネラルの欠乏や低体重などの栄養不良にも非常に脆弱です。しかし、ほとんどの国では、この負担を定量化し、適切なアクションをとるためのデータが不足しています。栄養不良との闘いにおける過去20年間の全体的な傾向は心強いものですが、SDGsを達成するためには、進歩を加速し、貧血と肥満の現在の傾向を2030年までに逆転させる必要があります。

現在の多くの傾向は、栄養不良に対する進捗を妨げています。複数の長期にわたる紛争、パンデミック、極端な気候現象により、人口移動の規模と強度が拡大し、保健その他のサービスや食品の生産・流通システムが直接中断されています。貧困削減、保健・社会保護・教育サービスへの包括的なアクセスなど、あらゆる形態の栄養不良の根本的な原因に取り組む行動と、あらゆる性質の危機への効果的かつ迅速な行動が不可欠です。

<sup>1</sup> Sagastume D, Barrenechea-Pulache A, Ruiz-Alejos A, Polman K, Benova L, Ramirez-Zea M, Penalvo JL. Quantifying Overlapping Forms of Malnutrition Across Latin America: A Systematic Literature Review and Meta-Analysis of Prevalence Estimates. *Advances in Nutrition* 2024;15:100212.

<sup>2</sup> FAO, IFAD, UNICEF, WFP and WHO. 2024. The State of Food Security and Nutrition in the World 2024 – Financing to end hunger, food insecurity and malnutrition in all its forms. Rome. <https://doi.org/10.4060/cd1254en>

<sup>3</sup> Stevens, G. A. et al. Micronutrient deficiencies among preschool-aged children and women of reproductive age worldwide: a pooled analysis of individual-level data from population-representative surveys. *The Lancet Global Health* 10, e1590–e1599 (2022).

<sup>4</sup> Joint child malnutrition estimates report UNICEF/WHO/WB. 2022

<sup>5</sup> IHME, GBD compare accessed 15 October 2024

↑ 表紙写真1:2024年2月29日、グアテマラ キチエ県 ネバフ市 La Pistamにて、Juana Brito Corio (38歳) は、娘Cecilia Guzmán (14歳)と甥 Diego Brito (5歳)と一緒に昼食を食べる。© ユニセフ/UNI569439/Willocq

↑ 表紙写真2:ウクライナ、2024年4月29日、ウクライナで授乳に関する認定コースを受講した医療従事者。

© UNICEF Ukraine/2024/Viktor Zavalniuk

↑ 表紙写真3:ネパールでは、生徒が自宅からさまざまな食材や食品を持ち寄り、毎日の食事に含まれる栄養成分や含有量について話し合う。© ユニセフ/UNI459620/Upadhayay

2030年までにSDG<sup>2</sup>を達成するためのコストは相当な額(年間390~500億ドル前後)ですが、こうした投資から得られる潜在的な経済的・社会的利益は、2030年までに年間5.7兆ドル、2050年までに10.5兆ドルに達する可能性があります<sup>6</sup>。実際、栄養への投資は、世界中での健康と開発における最も収益性の高い投資のひとつです。さまざまな形態の低栄養に対処するために投資した1ドルにつき、投資による利益は平均23ドルになります<sup>7</sup>。

このような試算の根底にある前提はさまざまですが、メッセージは明確です。すなわち、栄養への投資に対する見返りは膨大であり、栄養は開発方針において「開発のブースター」として認められるべきです。さらに、何もしないことのコストは、現在および将来にわたって社会が負担することになるのです。

東京で確保された多額の財政的コミットメント(270億ドル)を補完するためには、**栄養のための人道的資金の一時的な増加<sup>8</sup>から、科学的証拠に基づいて、あらゆる形態の栄養不良を予防し、抑制するための効果的で効率的かつ持続可能な長期的取り組みへの質的かつ政治的な転換が必要です。**これは、最も脆弱な人々を支援するためのより多くの効果的な対策を実施するための継続的な取り組み、および予防対策の大幅な改善と、農業食品、経済、社会、環境、保健の各分野での新たな対策の導入を意味します。国連栄養のための行動の10年(2016~2025年)の終了が近づくにつれて、すでに達成された知識と進歩を基に、2030年持続可能な開発アジェンダを達成するために資金の動員と栄養改善活動の実施を加速することが、これまで以上に喫緊の課題となっています。この目標を達成するには、公共部門と民間部門の関係者間の協力も必要です。**私たちは、持続可能な開発対策を通じて栄養面での進展を加速し、すべての人にとって良好な栄養状態を達成するための大きな進展に向けてこの5年間を共同で努力しなければならないのです。**

<sup>6</sup> Understanding the Cost of Achieving the Sustainable Development Goals, Policy Research Working Paper 9146, World Bank. 2020.

<sup>7</sup> Shekar, Meera, Kyoko Shibata Okamura, Mireya Vilar Compte, and Chiara Dell' Aina, eds. 2024. "Investment Framework for Nutrition 2024." Human Development Perspectives Overview booklet. World Bank, Washington, DC.

<sup>8</sup> Results for Development tracking aid for the WHA nutrition targets: progress toward the global nutrition goals between 2015 and 2021. July 2023

# ビジョン:2030年までのさらなる前進

N4Gプロセスは、設立以来、保健、食料、社会保護など、複数の分野にわたって政治的・財政的コミットメントを結集してきました。食糧安全保障と栄養を脅かす複数の危機を背景に、政府、国際機関、市民社会の共同の結集により、明確な方向性が示され、十分な投資が行われれば進歩を遂げられることが実証されました。注目すべき例としては、発育阻害と消耗症の削減、母乳育児率の向上における進歩が挙げられます。しかし、進歩は普遍的ではなく、あらゆる形態の栄養不良に及んでいません。

N4G東京で達成された印象的な動員に続き、フランスはN4Gパリをすべてのステークホルダーの政治的、財政的動員における決定的な瞬間にすることを目指しています。

N4Gパリは、あらゆる形態の栄養不良との闘いにおける野心を拡大し、2030年までに世界の栄養目標の達成に向けた進展を加速するために、断固とした大胆な政治的、財政的コミットメントを求めます。



マダガスカルのアホマロラヒで、女性がモーターポンプを使用している市場向けの野菜栽培 © Gret

## N4Gパリが目指すもの:

- 部門間および政治プロセス間の協調行動を通じて、栄養を持続可能な開発政策の中心に据える。
- 栄養は基本的人権であり、誰ひとり取り残されないため、あらゆる形態の栄養不良との闘いを普遍的な大義とする。
- 過去と将来の N4G サミットの間に関連性を作り、良好な栄養への取り組みを拡大する継続的な傾向を確立する。
- 国、地域、世界レベルで複数のステークホルダーからの高いレベルの政治的および財政的コミットメントを維持する。

このサミットは、国連食糧システムサミットのプロセス、気候変動と生物多様性に関するCOP、栄養に関する行動の10年、G7やG20の協力によって推進されている国際的イニシアティブなど、**栄養改善に向けた取り組みを生み出しているいくつかの世界的開発プロセスを結び付け、その基盤を築くものとなります。**

これらのプロセスは、たとえば、健康的で持続可能な食生活が食糧システムの変革に貢献すること、栄養サービスがユニバーサルヘルスカバレッジを通じて提供されること、気候変動の影響の緩和に栄養の保全が含まれること、社会保護システムがあらゆる形態の栄養不良の削減を目指すことなどを確実にすることを目指しています。

サミットでは、複数のセクターにまたがる**栄養の統合に向けて、適切に優先順位付けされ、十分な資金が提供される一連の新しい取り組みが調整され生み出されます。**N4Gパリは、取り残されてきた分野での取り組みを加速し、対応を拡大する絶好の機会です。サミットのプロセスは、これまで進展が見られなかった活動分野、人口グループ、地域に行動を向け、政府や栄養コミュニティがあらゆる分野で表明した政策優先事項と投資の適切な整合を確保します。

サミットは、世界の栄養目標、さらに広くは持続可能な開発目標を達成するための**集団的および個人的な責任**を強調します。したがって、政府、政治的意思決定者、ドナー、国際機関、市民社会、若者、慈善団体、国会議員、民間セクターの団体、研究機関など、すべてのステークホルダーによる協動的かつ調整された行動が必要です。サミットのプロセスは透明性があり、野心において合理的であり、既存の優れた説明責任メカニズムを強化します。

## サミットへの準備:政治的動員と認知度の高まりの1年

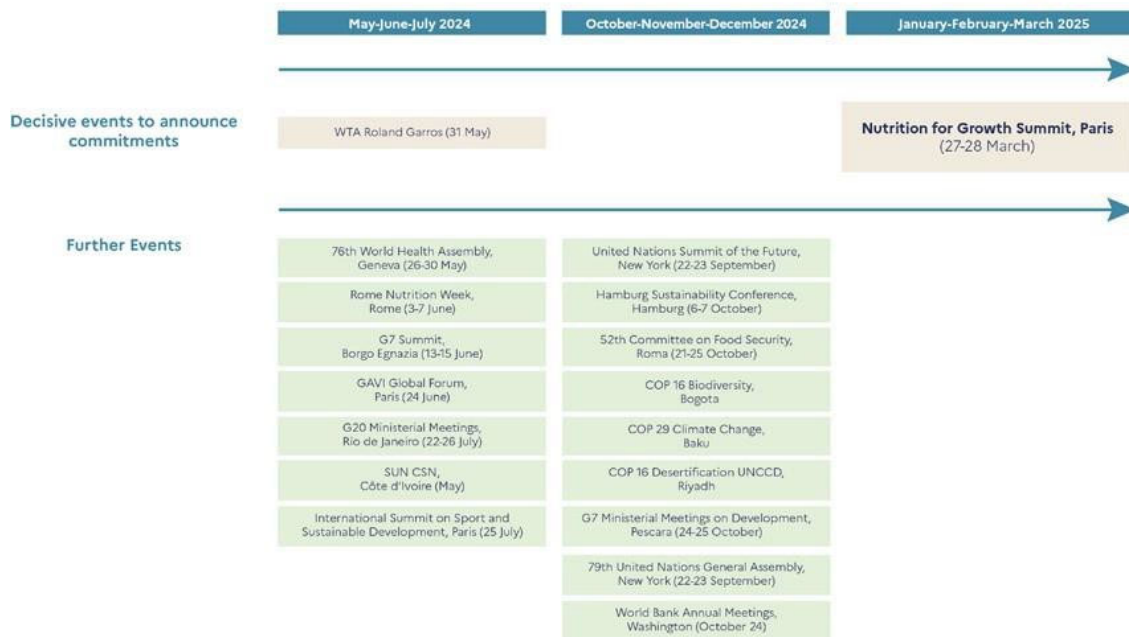
N4G パリへの準備は、各国政府のリーダーシップの下で、ステークホルダー間の対話、協議、調整を行う新たな機会です。N4Gパリは2025年3月27日と28日に行われる予定です。

すべてのステークホルダーは、すでに主要な栄養イベントでの動員活動への参加を呼びかけられています。関連する情報には、国連栄養行動の10年の報告書、世界の栄養目標を2030年まで延長することに関するWHOの勧告、Scaling Up Nutrition (SUN) のグローバル ギャザリング、国連食料システム サミット+4 Stocktaking Moment<sup>9</sup>、ミラノ都市食料政策協定グローバルフォーラムなどの、2025年の他のイベントの準備プロセスも含まれます。2025年のイベントを足がかりに、新たな取り組みを進めることで、低栄養に組み込み、肥満と食事に関連する疾病の世界的流行を逆転させる軌道修正を促すことができます。

フランスは、開発アジェンダの中心に栄養を置くためのハイレベルの政治的動員活動を主導します。その取り組みを活用するため、フランス政府は、すべての地域を代表する中核グループの支援を得て、サミットに適切な政治的指導を提供します。政治的動員のための主要な国際イベントとして、2024年6月と11月のG7サミットとG20サミット、2024年9月の第79回国連総会、2024年10月の世界銀行年次総会が特定されています。フランスは、G20でブラジルが推進した貧困と飢餓に対する世界同盟タスクフォースの設立を歓迎します。

SUNムーブメントのグローバル・ギャザリングを延期する必要はあるものの、SUNの傘下での地域交流<sup>10</sup>は、SUN諸国がN4Gの旅に乗り出す道を開くものです。これらの行動を起こすことで、政治的・財政的な栄養に関するコミットメントを補完し、低栄養への取り組みと肥満・食事関連疾患の世界的な流れを逆転させるよう軌道を変えるための新たな努力と説明責任を促進するでしょう。

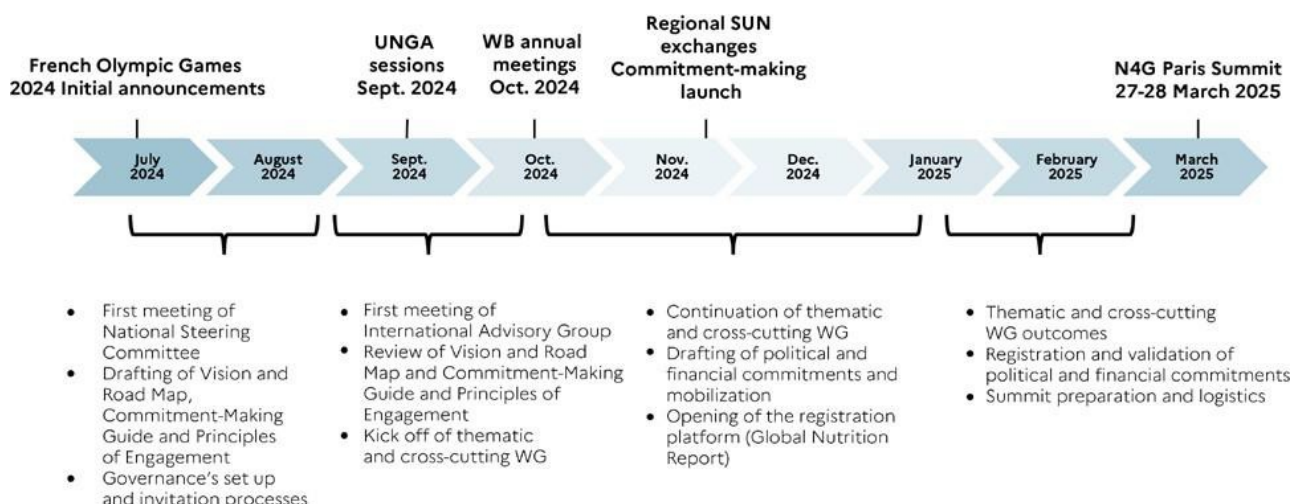
### Paris Nutrition for Growth Summit – Paris, 2025 – Road Map



9 これらには、国連FSS+4への準備作業として、the Food Systems Solutions Dialoguesの最新情報、National Pathways、the Coalition of Actionの進捗が含まれる。その中にはthe Coalition of Action on Healthy Diets from Sustainable Food Systems for Children and All (HDSFS), the School Meals Coalition, the Initiative on Climate Action and Nutrition (I-CAN) and the Zero Hunger Coalitionなど、栄養アジェンダとの直接的な関連性がいくつか含まれている。

10 これらは、様々なSUN技術支援プロバイダーとGNRIによって進められる。

N4Gサミットに至るさまざまな動員フェーズ:準備段階と組織段階、啓発、動員とアウトリーチ・キャンペーン、コミットメント・作成、コミットメント・登録段階を以下のタイムラインに記載します:



## N4G東京の重点領域を踏まえた意義あるコミットメントの確保

フランスは、N4Gサミットを世界の開発エコシステムとオリンピックサイクルにしっかりと定着させることで、特定の動員イベントを超えて栄養でのコミットメントの継続性を確保する必要があると考えています。この点で、オリンピックとパラリンピックの前回、現在、次回のN4G開催国で構成される「トロイカ」は、N4Gサミット間の継続性の向上を目指すこととなります。本提案は、以下のガバナンスの項で作成します。

政治的取り組みは栄養を国際開発戦略とアジェンダの中心にすることを目指していますが、フランスは複数のステークホルダーに対し、N4G関与原則に沿って、この問題に関する世界的な可視化キャンペーンに参加するよう呼びかけています。

N4Gパリで使用されるコミットメントと説明責任の枠組みは、N4G Tokyoの遺産と、その後、Global Nutrition Report (GNR)によって現在管理されているコミットメント記録と追跡メカニズムに基づいて構築されます。N4Gパリに先立って、ステークホルダーが2021年に提出したコミットメントの効果的な実施と進捗状況进行评估することは、ステークホルダーの個人的かつ共同での責任です。EU4SUNの支援から恩恵を受けているSUN運動諸国は、N4Gパリに先立って達成された進捗状況进行评估することができます。この点において、N4Gパリの行動は、2030年までにWHAの栄養目標を達成するために過去のコミットメントとまだ必要とされているコミットメントのギャップを埋め、関連する国際的課題の枠組みの中で栄養に関する集団的・個別的行動を強化することを目的として実施されます。すべてのステークホルダーの責任問題については、N4G Paris Commitment-Making Guideに詳述されています。

フランスは、栄養不良(低栄養、微量栄養素欠乏症、過体重および肥満を含む)のすべての形態に対して、それらの直接的な決定要因と根本原因に対処することによって取り組む必要性を認識し、「ライフコースを通してのアプローチで、栄養の多部門にわたる側面に取り組む新たなコミットメントを行うようすべてのステークホルダーに奨励することを望んでいます。N4Gパリは、栄養不良がすべての大陸とすべての国に影響を与えるため、人道と開発の問題を超えて取り組むことを目指しています。また、ドナー政府を含むすべての政府に対し、野心的な国内政策や財務的誓約の作成を奨励しています<sup>11</sup>。

<sup>11</sup> N4G東京では、2つのドナー政府が国内誓約を作成した。



2023年3月1日、ユニセフが支援するソーシャルモビライザーである栄養看護師のJal Kuemは、南スーダンのUnity State BentiuにあるBieh IDPキャンプで栄養不良の子どもを測定している。© UNICEF South Sudan/Mark Naftalin

コミットメントは、エビデンスに基づいて作成され、SMART 方式を使用して起草され、現実の状況や政府が設定した国家戦略および優先事項に沿ったものでなければなりません。コミットメントは、政策や財政に関連する場合があります。特に複数のセクターにわたる一貫性の必要性に重点が置かれます。すべてのステークホルダーは、他の状況ですで行われたコミットメントを伝え、その完全な実施に向けた取り組みに焦点を当てることができます。

これらの新しいコミットメントの策定と監視を促進するために、東京サミットから引き継いだ次のテーマに取り組むことを提案します。:

- 栄養、健康、社会保護
- 栄養、持続可能な食料システムと気候への移行
- 栄養、危機に対する回復力

文や横断的なテーマも特定されています:

- 栄養とジェンダーの平等
- 栄養に関するデータ、研究、人工知能、イノベーション
- 栄養に対する資金調達と説明責任

各分野について、1つまたは2つの国際機関がワーキング グループを結成し、議長を務め、各国政府が全面的に参加して関与します。テーマ別グループは、優先的な行動が必要な分野を定義し、それらの分野での新規および/または規模の拡大されたコミットメントの生成をサポートし、サミット全体の物語がさまざまなテーマで表明された優先事項を適切に統合するようにします。ワーキンググループは、エビデンスに基づく政策やプログラムを検討し、必要に応じてエビデンス・ベースを強化する機会を提言します。以下の表は、テーマ別ワーキンググループの初期の枠組みを示しています。



以下の表は、テーマ別ワーキンググループの初期の枠組みを示している。

## 重点領域

### 健康・社会保護

コミットメントは、保健サービスの提供、労働力、資金調達、医療情報システム、必須医薬品へのアクセス、財政、リーダーシップ、ガバナンスといった国民皆保険に栄養を含めるために、WHO保健システムの6つの柱を中心に組み立てることができる。

母親、新生児、子供の健康、特に最初の1,000日間の健康へのアプローチに焦点を当てることは、長期的な利益を得るために不可欠である。

社会的保護のアジェンダの下で栄養に注目することは、最も弱い立場にある人々の栄養ニーズを保護し、栄養価の高い食品へのアクセスを提供し、育児実践を改善し、サービスを利用する際の経済的障壁を軽減する道を開くことができる。栄養上の成果を達成するには、現金、現物給付、学校給食、社会的保護制度を栄養の観点(過栄養と低栄養)から考慮する必要がある。

### 持続可能な食料システムと気候への移行

コミットメントは、関連するさまざまな食料システムとその決定要因(所得、市場、農業、消費者環境)間の相互関係を考慮しながら、食料システムの変革の一環として、健康的で栄養価が高く持続可能な食事を確保するためのより良い環境への貢献に焦点を当てるべきである。健康的で栄養価が高く持続可能な食品の入手可能性とアクセスしやすさを高め、多様でアクセスしやすい食生活を確保するための地域的で持続可能なアプローチを優先することが最も重要である(脚注12を参照)。

農業とフードサプライチェーン、食環境、消費者環境、食生活など、農業・食品システムのさまざまな要素において、気候変動と栄養の両方にプラスの成果をもたらす統合的な行動への配慮が奨励されるべきである。

### 危機回復力

複数の長期化する危機において、栄養は人道と開発の平和の結びつきにおける重要なインプットとアウトプットであるとみなされ、人為的、経済的、気候関連を問わず、危機的状況においては保護される必要がある。回復力の構築と備えが鍵であり、複数年にわたる政策、計画、資金調達が必要である。

コミットメントは、ケアの継続性を確保し、子どもの発達と女性の食生活を守り、地域社会と生計をショックから守ることを目指すべきである。栄養サービスはすべての脆弱な状況において保護されなければならない。

この取り組みは、政府間の人道的・開発的取り組みと、影響を受けた人々との間の溝を埋め、あらゆる形態の栄養不良に対処することを目的としている。



Siliga小学校で給食を食べる生徒達。ソマリア、プントランド州ガロウエ。2024年5月14日© WFP/Lina Mustapha

12 Biofortification versus diversification to fight micronutrient deficiencies: an interdisciplinary review. E Malézieu E, Verger E, Avallone S, Alpha A, Ngigi P, Lourme Ruiz A, Bazile D, Bricas N, Ehret I, Martin Prevel Y, Amiot M.J. Food Security 16(05). Décembre 2023. DOI :10.1007/s12571-023-01422-z

# 横断的分野

## ジェンダー平等

栄養とジェンダーは密接に関連している。栄養の生物学は、食品の生産と消費の方法、栄養サービスの提供と利用方法に関する社会規範と政治に包含されている。エネルギーと栄養素の必要量は、性別、健康と栄養の生理学、それと、ジェンダーの役割と責任の両方によって決まる。

この新たな取り組みでは、ライフステージ全体を通じた女性のエンパワーメントと、男女間のサービス、教育、生計手段、意思決定へのアクセスにおける格差に対処することの双方に焦点を当てている。

## 栄養に関するデータ、研究、AIとイノベーション

質の高いデータが不足し、国、地域、世界レベルでの進捗状況を追跡する能力が限られていること、一部の行動分野のエビデンスが不足していることから、栄養は依然として計り知れない課題に直面している。

報告の世界的な改善にもかかわらず、断片化した課題は残されている。栄養と健康的で持続可能な食生活に関する世界目標に沿って、情報に基づいた意思決定と説明責任を果たすためには、堅牢なリアルタイム情報システムが緊急に必要である。社会、経済、技術の進歩を含むイノベーションは、進歩のために不可欠である。投資の費用対効果を高めるために、データ、研究、提供モデル、技術におけるイノベーションが必要である。効果的な行動に対する堅牢な証拠がまだ必要な分野に科学研究を拡大する必要があり、状況に応じて行動の効率と有効性を向上させるための運用研究も必要である。問題解決と進歩のために、人工知能のベストプラクティスの共有が推奨される。

コミットメントは、タイムリーで情報に基づいた意思決定と説明責任の向上のためにデータと証拠を改善し、あらゆるレベル(世界、地域、国、地方)での影響を最大化することを目指している。

## 栄養に対する資金提供と説明責任

多様な形態の栄養不良の複合的な課題に取り組み、持続可能な利益を達成するためには、より多くの資金調達と説明責任が必要である。

財政は政策の優先順位に合わせる必要があり、優先順位を決めるべきではない。世界レベルと国家レベルの両方で、栄養に配慮したタグ付け、影響を理解するための予算/支出の改善、およびより優れたより統合された財務追跡(国内と国際の責任システム間の接続を含む)が必要である。

国内の資金調達は重要だが、コミットメントにはマッチングファンドやその他の革新的な資金調達方法が含まれる場合がある。グッドプラクティスの拡大は、効率化とインパクトの達成には不可欠である。世界銀行の改訂された世界投資枠組みは、栄養に配慮した活動と栄養に配慮したSMARTな気候変動対策の資金調達の緊急性を強調し、資金調達の推奨をさらに導くことになる。資金調達は持続可能なものであるべきであり、人道的観点と開発的観点の両方に向けられるべきである。

特に東京の公約を考慮すると、説明責任を改善することは信頼性を高めることになる。また、過去と将来のN4Gサミットの継続性を生み出し、すべてのステークホルダーの説明責任の向上を促進しながら、良好な栄養への取り組みを拡大する継続的な傾向を確立するという、N4Gパリの野心にも貢献するはずである。説明責任システムは、財務と政策の両方のコミットメントに向けられるべきであり、それらの行動の影響を示すことができる必要がある。

# N4Gパリ ガバナンス

N4G パリ全体で複数の分野、複数の利害関係者の対話と調整された動員を確保するために、フランスのニーズを考慮しながら、これまでのサミットの経験に基づいたガバナンス構造が導入される予定です。N4G パリのガバナンスは、フランスが望む、栄養の多分野の性質と関与する利害関係者の多様性を受け入れながら、柔軟で機敏で、可能な限りライトなメカニズムです。

これに伴い、**2つの委員会**が設置されます。1つはフランス欧州外務省（MEAE）が議長を務め、フランス開発庁（AFD）が副議長を務める**国家運営委員会**、もう1つはコートジボワール共和国と SUN 運動が共同議長を務める**国際諮問グループ**です。どちらも、N4G パリに向けて活動し、そこで戦略ガイドラインを定義します。これらのフォーラムは、栄養と開発コミュニティ内での協議、対話、コミュニケーションの重要な場となります。これらのフォーラムは、政府、ドナー、市民社会、国連機関、慈善団体、民間セクター、国内または国際レベルの研究分野など、主要な利益団体の代表者で構成されます。委員会の任務は、最初のセッションで提示され、承認されます。2つの委員会間の一貫性は、2つの委員会が並行して審議できるように共通のスケジュールによって確保されます。

国際諮問グループは、日本、米国、フランスの政府からなる「トロイカ」と、栄養を開発アジェンダの中心に据えるフランスの取り組みを支援する国々（および欧州連合）と非政府主体のコアグループで構成されます。中核グループは、フランスの MEAE の支援の下で結成されます。

*N4Gパリのガバナンススキームは付属書1に示されています。*



WFPは、フランスからの多大な資金提供を受けて、バングラデシュのコックス・バザールのロヒンギャキャンプの学習センターの子供たちに栄養価の高い強化ビスケットを提供しています。この写真では、Sufialは美味しいWFPビスケットを楽しんでおり、彼女は元気になると話す。

© WFP/Atanu Sama

# N4Gパリサミット

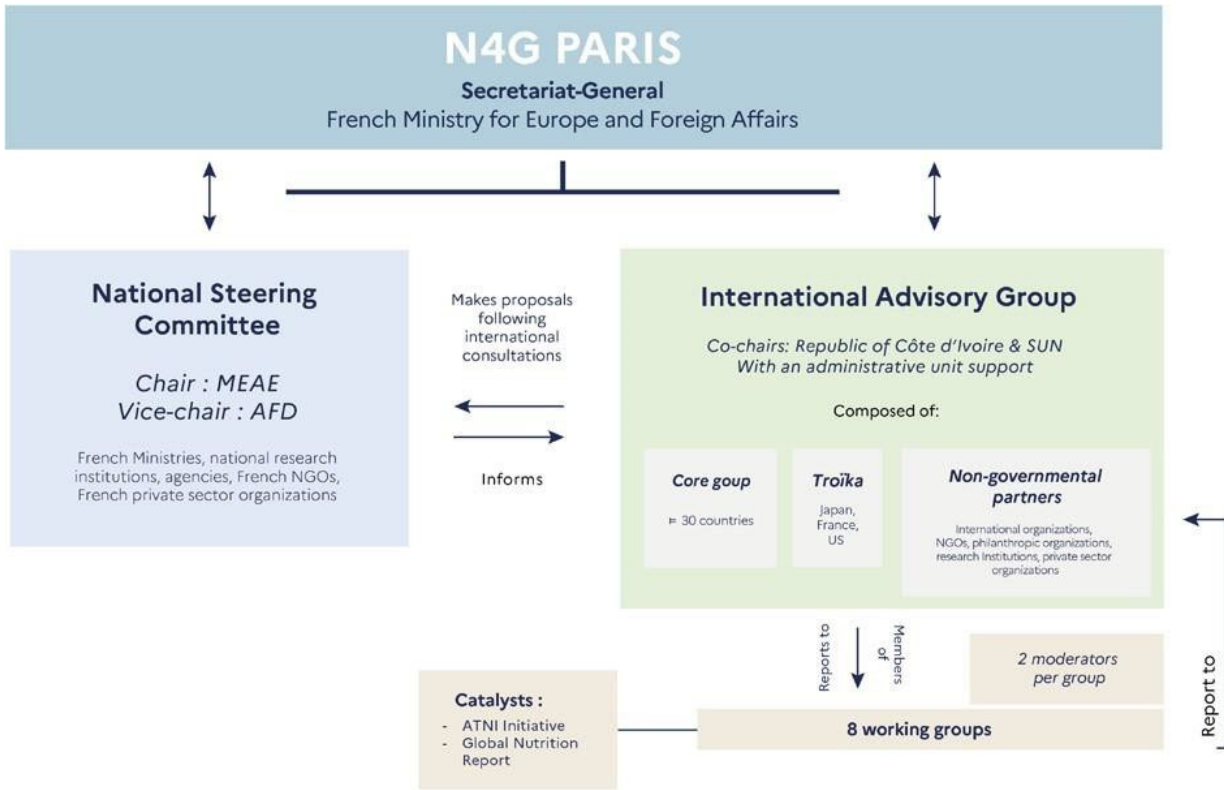
2日間のサミットは、いくつかのテーマ別セッションの形式で行われます。これらのテーマは、サミットの前にN4Gパリのガバナンス組織によって定義されます。その目的は、コミットメントの進捗と継続性を強調し、これを達成するのに役立つ要素を紹介することです。

- 上記の分野における**分野横断的なテーマ会議**、WFP グローバル・イノベーション・チャレンジ、および参加原則を尊重し、すべてのステークホルダーがアクセスできる全体参加セッションが開催される予定です<sup>13</sup>。
- 「**栄養のためのソリューションビレッジ**」はExpertise Franceと欧州委員会の支援を受けて開催され、さまざまな背景やさまざまな背景やさまざまな関心を持つステークホルダーやグループ（市民社会、民間セクター、研究機関、慈善団体、国際機関）が、あらゆる形態の栄養不良との闘いをより効果的かつ効率的にするための革新的なアイデアを集め、共有します。このビレッジは一般公開されます。
- 「**ファイナンス・イン・コモン**」サイドイベントはAFDが主催し、栄養不良との闘いへの支援と資金提供に関心のある「ファイナンス・イン・コモン」グローバルネットワークの公的開発銀行を一堂に集めます。このサイドイベントは、栄養への財政支援をより効果的かつ効率的にするためのベストプラクティスと教訓を確認する機会にもなります。

<sup>13</sup> 参加原則はN4G Paris Commitment-Making Guideに詳述されている

# 付属書1

## N4Gパリガバナンス



N4G/パリサミットに関する連絡先

<mailto:n4g.dgm-dag-huma@diplomatie.gouv.fr>

—  
**Ministry for Europe  
and Foreign Affairs**

**Directorate-  
General for Global  
Affairs**

27, rue de la Convention 75732  
Paris CEDEX 15